

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年12月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105099
法人名	医療法人 松柏会
事業所名	グループホーム てまり
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町441番地 (電話) 099-284-4800
自己評価作成日	平成28年10月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鉄筋コンクリート作り2階建ての2階部分全てに2ユニットであるため、広々とした空間になっておりリビングは大きな窓ガラスであるため外の景色がよく見え開放的になっています。
敷地内には、母体のTsukasa Health Care Hospital(心療内科・精神科・神経内科)、介護老人保健施設フレンドホームがあるため必要に応じて専門的な医療や介護を受けることができ、ホームでの取り組みでは、季節に応じた行事、ボランティア等の受け入れも積極的に行ない、利用者が楽しく安心して生活ができるよう、日々スタッフ一丸となり取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は敷地内に同法人の母体医療機関や介護老人保健施設が隣接し、相互協力体制が構築されている。法人全体行事や各事業所の行事などの交流、医療面や防災面での協力体制が整っている。
- ・広い敷地内に建てられたグループホームで、リビングは明るくて広く、窓にはフィルムが施行され、プライバシー保護や室温上昇にも配慮されている。
- ・ユニット間は広い廊下でつながっており、自由に行き来が可能で交流や歩行訓練が日常的に行なわれるなど開放的である。
- ・法人全体研修や事業所内研修・外部研修などを通じて、職員の資質向上や資格取得などに積極的な取り組みを行っている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図りチームワークが良好で、職員育成に力を入れ、職員の働く意欲を引き出している。職員は勤務年数が長く離職者も少ない。家族からの信頼も厚い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事務所、リビングの見やすい所に掲示している。実践につなげるようしている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所運営理念を掲げ、事務所・リビングへ掲示すると共にホームページ・パンフレット等へ掲載している。毎週月曜日2ユニット合同朝礼で唱和し確認と理念に沿ったケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣の施設で行われている行事に参加している。食材料の買い物または配達をしていただき日常的に繋がっている。また定期健診や受診を行っている。	食材は地域の商店を利用して買い物をしたり、散歩の際には挨拶や会話をしている。法人行事などには中学生やボランティアの参加があり、日常的に地域住民からの野菜等の差し入れ等、地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議の参加者、実習生、家族、見学者、併設施設従業員の方々に認知症についての基礎知識や事例等を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回状況等の報告をし評価をしていただいている。	会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告・事故報告やヒヤリハット報告が行われ、参加者からも多くの助言や提案が出され、そこでの提案や意見を職員で話し合い、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	2ヶ月に1度、運営推進会議に長寿あんしん相談センターの方も出席していただき情報交換をしている。また福祉課にも月1回訪問し連携をとっている。	市担当者とは、毎月書類関係等で訪問し連携を取っている。電話等も利用して事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深めている。市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	契約書にも原則身体拘束は行わない旨を記載しており、介護スタッフにも身体拘束となる具体的な行為を資料をもちいて説明している。	身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って月1回の会議や定期的な研修を実施し、事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間の玄関は施錠せずに、職員間の連携で安全な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の具体的な行為を周知し、丁寧な介護をするよう指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用している方もおられ必要な関係者と連携をとりながら支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書、重要事項等をもとに事前に説明している。本人、家族の方が納得した上で入居していただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>月に1回は定期報告をしておりその時に家族の意向を確認している。要望がある場合には迅速に対応している。</p>	<p>利用者からは日常生活の中で会話や表情・しぐさからくみ取るよう心がけている。介護相談員からの意見も参考にしている。家族からは月1回の状況報告時や面会時・電話連絡等で意見や要望を聞く機会を作っている。出された意見や要望は職員で共有し、運営やケアに反映させている。家族の要望で箸が上手に使える物に変更する等、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎朝の申し送りの時に意見交換を行い必要に応じて柔軟に対応している。その他ケア会議の場でも意見を聞いている。</p>	<p>朝礼や毎月のケア会議・ユニット会議・ショートカンファレンス時に意見や要望・提案等、意見交換が行われ、申し送りノートを利用し全員で情報を共有している。管理者は年1回の個人面談、必要時には随時面談を行っている。出された意見で入浴拒否の利用者にアイデアを取り入れたり、情報伝達の徹底が図られた。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勉強会への参加や資格取得のための勤務調整、プライベートでの休み希望の調整等を協力的に行ない契約更新時にも十分に話をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>無理のない勤務体制や本人のやりたいと考えていることなど積極的に協力している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的に同事業者と連携をとっており情報の共有を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人、ご家族、医療機関等と情報を共有しながら安心安全な環境を提供していくように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>否定せず頷く姿勢で話を傾聴し家族の想いを受け止め信頼関係が築けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族の生活習慣や価値観を見極めたうえでサービスの選択肢を提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意向を理解し尊重しながらそれに添ったケアができるよう努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>一番の理解者は家族であり、介護スタッフでの説明では限界がある。その時にご家族の協力が得られるような関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>外出・外泊等の自由、本人の趣味嗜好を家族と相談しながら支援している。</p>	<p>親戚や友人・知人の訪問の際には、状況に応じてお茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。手紙や電話の取次ぎ等も行っている。家族の協力で外食・墓参・理美容院利用なども支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食事の座席の位置やリビング以外で団欒できる空間を設けており職員が間に入り関係を作っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>相談ごとがあればいつでも受け入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分の想いをうまく表現できない場合が多いため日頃の言動を通して本人の意向を理解するよう取り組んでいる。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報をもとに暮らしやすい環境づくりに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中から本人の能力を観察しケース記録や支援経過等に記載している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、介護スタッフ（ケア会議）、医療機関等の関係者からの情報も取り入れ作成しモニタリングも随時行っている。	本人や家族・必要な関係者の意向を確認し、職員間の会議で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別の記録を毎日記載し継続的なケアが記録を通してわかるようにしている。また医療・介護・事務連絡等が記載してある連携ノートも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の体調の変化に伴いニーズも変わってくるのでその時々に合わせて柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	移動図書、訪問マッサージ、ヤクルト、新聞など、地域の資源も活用しながら楽しみを持てる入居生活が送れるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の選択によって決められた医療機関を尊重している。	本人や家族の意向により、母体医療機関が主治医となっている。専門医や他科受診については家族の協力のもとで、情報の提供をしながら支援している。事業所の医療連携体制での健康管理を含め、緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々健康管理をしており体調の変化があった場合には、ホーム内の看護師に連絡し必要な支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	治療に専念できるようご家族や病院スタッフと連携をとっている。入院時や退院時には必要な情報を書面で情報交換している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事前に聞き取っており、重度化した場合に再度本人、家族、医療機関等と話し合いながら本人、家族が納得いくような支援を行っている。	契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い医療連携等の説明を行い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員全員が勉強会を行っている。看取りの事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡体制や処置等の手順のマニュアルをもとに指導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的にコンセントの掃除、専門業者による電気設備の点検、年2回法人全体での避難訓練(1回以上は消防署立ち会う)、スプリンクラー、災害通報装置を設置している。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと昼夜想定避難訓練を実施している。隣接する同法人の事業所や医療機関と協力体制ができている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、定期的にコンセントの掃除、専門業者による電気設備の点検を行っている。災害時の水や缶詰・麺類・カセットコンロなどの備蓄もあり、定期的に食料品の交換も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員の言葉使いを互いに気をつける。無理強いせず本人が発する言葉を尊重してサービスを提供している。</p>	<p>マニュアルに沿ってケア会議や法人全体の研修会等で研修を行い、声かけには十分注意している。言葉使いや誇りや人格の尊重・プライバシーを損ねないケアを心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>些細な判断を要する場面でもわかりやすい言葉で声かけし本人の意向を確認しながらすすめている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その人の生活リズムを尊重しながらサービスを提供している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎日の洗髪、洗顔や季節に応じた衣替え、定期的な理美容など身だしなみには、注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の話題を提供しながらもやしの根きり、おぼん並べ、台拭き等できる作業は手伝ってもらっている。本人の嗜好品も把握し個々に合わせた食べやすい調理になっている。	献立は嗜好調査を基に栄養士に相談しながらユニット毎に作成、代替え食品や個々に応じた食事形態等の工夫をしている。個々の能力に応じて下ごしらえやお盆・テーブル拭き等、職員と一緒にしている。季節料理や行事食・外食の楽しみや誕生日には本人の希望を聞きながら食事提供をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	協力病院の献立表を参考にして献立を考えている。食事量や水分量は、食事、お茶時間等に状況を確認している。食事形態も個々に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアをしている。義歯の噛み合わせがわるい時には、歯科医師に相談できる関係を築いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	昼と夜のオムツの種類を変えたり、本人がトイレでの排泄を希望する場合には、トイレでの排泄も行なうよう柔軟に対応している。またオムツの能力を十分にいかすようにしている。	排泄のリズムを把握し、必要に応じて声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。夜間帯においても睡眠を妨げない範囲で排泄支援を実施している。排泄用品の使用も個々人に合わせたものを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの取れた献立や十分な水分補給と適度な運動。便秘時には、医療機関に相談し早期に便秘解消するようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴できる体制であり、本人の体調や気分に応じて入浴している。浴室暖房が設置してあるため冬でも暖かく入浴をすることができる。	入浴は基本的に週3回、午前を実施、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応し、必要に応じて毎日でも実施可能である。入浴剤使用や浴室暖房など工夫している。拒否のある利用者には声かけのタイミングの工夫やシャワー浴・足浴・清拭・翌日に試みるなどの対応を行い、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の好きな時間に休息をとってもらっている。睡眠障害がある場合には、医療機関に相談し必要な医療を提供してもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容が記してある台帳があり、変更の場合には、適宜申し送っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>新聞、移動図書、ヤクルトなどの嗜好品を楽しめるような支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>個々の体調や気分、天気の良い日などは、屋外散歩も行い、普段行けないところは、家族の協力をもらいながら支援している。</p>	<p>日常的に天気の良い日は施設内や近隣周辺を散歩したり、法人売店へ買い物へ行ったりしている。月1回の市の移動図書館の利用や季節で敷地内の桜やコスモスの花見も楽しんでいる。日常的に外出の機会があり、園外活動や家族との墓参り・理美容院利用・外食など、家族の協力で支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望とご家族の同意があればご本人の意向を尊重している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の意向を尊重し支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は、木目調で落ち着いた雰囲気を出し、トイレは、車椅子も対応できる広さを確保洗面所もついている。廊下やリビングには、エアコンを設置し季節に応じて快適な空間が保てるようにしている。リビングにはテレビが設置してあり希望の番組を楽しめている。	共用の空間は広々として大きな窓から山々や街並みを楽しめる。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。ユニット間も広い空間で行き来しやすい。季節感を大事にした飾りつけがあり、数多くのソファの好みの場所で居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング以外でも、腰をすえて話しができる空間を設けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、洗面所、鏡、エアコンが完備してあるだけなので、他のものは本人の能力に合わせた寝具、家族が好むものを準備してもらおうようしている。	居室は大きな窓で室内が明るく、戸襖で防音効果や保温効果がある。洗面台やエアコン・ベット・タンスが設置され、個々にテーブルや椅子・仏壇や位牌を持ち込み、カレンダーや写真・手芸品が飾られ、居心地良く過ごせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物干しやたたみ、台拭き、おぼん拭き、もやしの根とり、シソの葉をとるなどの下ごしらえをしてもらいできる力を維持できるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない